

設置届出書の記載方法等について

1 様式

		様式の種類	留意事項
条例第39条の3第1項	○別記様式 第8号の2	指定揚水施設設置届	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人の場合は、代表者の印鑑を押印する。 ・ 代理人による届出とする場合には、委任状を添付する。
	○別紙		
	別紙1	指定揚水施設の構造・指定揚水施設のストレーナーの位置・揚水機の吐出口の断面積	井戸、揚水機の情報に記載する。
	別紙2	地下水の採取予定量等	揚水機によって汲み上げる地下水の量を記載する。
別紙3	地下水採取抑制要請時における節水の方法等	節水要請の連絡先、節水要請を受けた場合に行う節水の方法を記載する。 ※別紙3は、特別指定地域（栃木市藤岡町、小山市及び野木町）内において、吐出口断面積が45 cm ² を超える揚水施設を設置する場合に提出する。	

2 添付書類

添付書類の種類	記載にあたっての注意事項
位置図	指定揚水施設の設置場所の所在地を示す地図、敷地内における設置場所を示す図面を添付する。
構造図	井戸の断面図（ストレーナーの位置を含む。）、揚水機の平面図、立面図（主要寸法を記入）を添付する。

別記様式第8号の2 (第29条の3関係)

指定揚水施設 設置
~~使用~~ 届出書 該当する事項以外は、取り消し線で抹消する。

令和〇年〇月〇〇日

栃木県知事 福田 富一 様

代表者印を押印する。

届出者 住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
栃木県〇〇市〇〇〇〇番地
氏名 〇〇〇〇土地改良区
代表 〇〇〇〇 印

指定揚水施設の 設置
~~使用~~ について、栃木県生活環境の保全等に関する条例 第39条の3第1項
~~第39条の4第1項~~ の規定

により、次のとおり届け出ます。

指定揚水施設の名称	〇〇用水1号井戸、〇〇用水2号井戸			同一市町の施設は、設置場所が異なっても併せて届出可。
指定揚水施設の設置の場所	〇〇用水1号井戸：〇〇市〇〇〇町〇〇〇〇番地 (郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇用水2号井戸：〇〇市△△△町△△△△番地 (郵便番号 〇〇〇-〇〇△△)			
△ 指定揚水施設の構造	別紙のとおり	△指定揚水施設の ストレーナーの 位置	別紙のとおり	
△ 揚水機の吐出口の断面積	別紙のとおり	△地下水の採取予 定量	別紙のとおり	
地下水の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 1農業用水 2水道用水 3工業用水 4建築物用水 <input type="checkbox"/> 5その他 ()			地下水でなければならない理由を記入する。
地下水採取の理由	・他の水源に頼るのが困難であるため。 ・他の水源では水質が用途に合わないため。 など			
△地下水採取抑制要請時における節水の方法等 (特別指定地域内において揚水機の吐出口の断面積が45平方センチメートルを超える施設を設置する場合に記載すること。)	別紙のとおり	栃木市(旧藤岡町)、小山市、野木町において、吐出口断面積が45cm ² を超える揚水機を設置する場合、別紙3を添付する。		
記載担当者名及び 連絡先電話番号	〇〇〇〇 〇〇〇〇(〇〇)〇〇〇〇			届出元の担当者名、電話番号を記入する。
※ 受理年月日	年 月 日	※ 整理番号		※ 備考

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。

指定揚水施設の構造・指定揚水施設のストレーナーの位置・揚水機の吐出口の断面積

指定揚水施設の名称	〇〇用水1号井戸	〇〇用水2号井戸
指定揚水施設の設置の場所	〇〇市〇〇〇町〇〇〇〇番地	〇〇市△△△町△△△△番地
井戸の深さ (地表からの深さ)	100 m	150 m
指定揚水施設の ストレーナーの位置 (地表からの位置)	40 m ~ 47 m	50 m ~ 70 m
	70 m ~ 77 m	95 m ~ 102 m
	m ~ m	120 m ~ 130 m
	m ~ m	m ~ m
揚水機の型式	水中モーターポンプ 〇〇社製〇〇〇〇〇	水中モーターポンプ △△社製△△△△△
揚水機の揚水能力 (最大吐出量)	42 m ³ /時	60 m ³ /時
揚水機の定格出力	11 KW	15 KW
揚水機の吐出口の断面積 (揚水機の吐出口径)	33.2 cm ² (65 mm)	78.5 cm ² (60 mm、80 mm)
工事着手予定年月日	令和〇年 〇〇月 〇〇日	令和〇年 〇〇月 〇〇日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
設置年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項	指定揚水施設の構造及び使用の方法について参考となる事項を記入する。	揚水機の吐出口が2つあり、断面積は2つの合計を記載した。

備考 設置届出の場合には工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に記載すること。

地下水の採取予定量等

指定揚水施設の名称		〇〇用水1号井戸	〇〇用水2号井戸
指定揚水施設の設置の場所		〇〇市〇〇〇町〇〇〇〇番地	〇〇市△△△町△△△△番地
地下水の採取予定量	1日当たりの最大運転時間	16時間	8時間
	1日当たりの最大採取量	670 m ³ /日	1,000 m ³ /日
	年間採取量	180,000 m ³ /年	105,000 m ³ /年
	内 訳	4月～9月 平均 400 m ³ /日	5月～9月 平均 700 m ³ /日
		10月～3月 平均 600 m ³ /日	10月～4月 平均 0 m ³ /日
地下水採取量の測定方法	1 水量測定器 <input type="checkbox"/> 羽根車式流量計 <input type="checkbox"/> 回転球式流量計 <input type="checkbox"/> 差圧式流量計 <input type="checkbox"/> 面積式流量計 <input type="checkbox"/> 渦式流量計 <input checked="" type="checkbox"/> 電磁式流量計 <input type="checkbox"/> 超音波式流量計 <input type="checkbox"/> その他 () 2 その他 ()	1 水量測定器 <input type="checkbox"/> 羽根車式流量計 <input type="checkbox"/> 回転球式流量計 <input type="checkbox"/> 差圧式流量計 <input type="checkbox"/> 面積式流量計 <input type="checkbox"/> 渦式流量計 <input type="checkbox"/> 電磁式流量計 <input type="checkbox"/> 超音波式流量計 <input type="checkbox"/> その他 () 2 その他 (使用電力量から算出)	
その他参考となるべき事項	地下水採取量を算出によって求める場合は、算出の方法や考え方を記載する。	地下水採取量は、次の式により計算で求める。 使用時間＝使用電力量÷定格出力 採取量＝使用時間×揚水能力	

備考 水量測定器については、該当する項目にレ印を記入すること。

(別紙3)

別紙3は、栃木市(旧藤岡町)、小山市、野木町内に、吐出口断面積が45cm²を超える揚水機を設置する場合に記入する。

(No. 1/1)

地下水採取抑制要請時における節水の方法等

指定揚水施設の名称		〇〇用水2号井戸	
指定揚水施設の設置の場所		〇〇市△△△町△△△△番地	
節水の方法	<p>実際に行う節水方法を記載する。</p> <p>1～4のいずれかに○をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の水源からの使用量を増やし、地下水採取量を○%減らす。 ・採取した地下水の循環利用を行い、地下水採取を○%減らす。 ・夜間(午後〇時から翌午前〇時)に配水栓バルブを絞り、地下水採取量を○%減らす。 ・ポンプの稼働時間を24時間から20時間に短縮し、地下水採取量を○%減らす。 ・毎週月曜日に地下水採取を止め、地下水採取量を○%減らす。 ・工場内の部署ごとに、節水日を設定し、地下水採取量を○%減らす。 ・洗車・散水等の地下水の使用を止め、地下水採取量を○%減らす。 ・既に〇〇〇(上記内容)を実施しており、これ以上の節水の取組をすることは困難 など 	
連絡方法及び連絡先	1 電子メール	(メールアドレス)	(メールアドレス) 〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇.ne.jp
	2 ファクシミリ	(ファクシミリの番号)	(ファクシミリの番号)
	3 郵送	(郵便番号、住所及び宛名)	(郵便番号、住所及び宛名)
	4 その他	(連絡方法及び連絡先)	(連絡方法及び連絡先)
その他参考となるべき事項			

備考

- 1 節水の方法の欄に書ききれない場合は、別葉に記載の上、添付すること。
- 2 連絡方法及び連絡先の欄は、1から4までのいずれかを○で囲み、連絡先を記載すること。